

令和3年度地域保健等に関する調査研究助成について

◇地域保健部◇

北海道医師会では、本道の地域保健等の向上・推進に資する調査研究活動への助成事業を実施しております。昨年度は以下8つの調査・研究に対して助成いたしました。

調査・研究内容の詳細については、北海道医師会ホームページに随時掲載いたしますのでご覧ください。

●掲載はこちら 北海道医師会トップページ → 北海道医報 → 2022年9月1日[第1248号]

<p>■執筆者 小池 明美（札幌市医師会/札幌市学校医協議会） テーマ 新型コロナウイルス感染症蔓延が「児童・生徒の体格指数及び成長曲線・肥満度曲線有効利用による医療機関受診率」に及ぼす影響について 新型コロナウイルス感染症蔓延による生活環境変化が児童・生徒の体格指数及び「成長曲線・肥満度曲線による医療機関への相談お勧め基準」による医療機関受診率に及ぼす影響について調査し、児童・生徒の健全な発育に貢献した。</p>
<p>■執筆者 長岡 由修、星井 桜子、荒木 義則、佐野 仁美、八十嶋弘一 （札幌市医師会/札幌市学校医協議会検尿判定委員会） テーマ 2020年度札幌市学校検尿成績報告 COVID-19流行下で実施された2020年度札幌市学校検尿について、小中学生の成績を報告した。受検率98.3%、要精検率0.37%と例年通りだが、受診率62.1%と低下した。有所見者の最多は無症候性血尿だが、新規に限ると無症候性蛋白尿だった。受診率改善やスクリーニング精度の向上が今後の課題である。</p>
<p>■執筆者 高木 摂夫、新谷 朋子、佐野 宏行 （札幌市医師会/札幌市学校医協議会/札幌市耳鼻咽喉科医学会学校保健委員会） テーマ 耳鼻咽喉科健診器機のディスプレイへの変更による問題点の検討 新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、耳鼻咽喉科学校健診において使用される健診器具をディスプレイに変更した。その結果が検診業務に与えた影響や問題点を調査すべく実際に使用した学校医に対しアンケートによる実態調査を行い今後の方向性について検討した。</p>
<p>■執筆者 水関 清、平田 博巳、中島 滋夫（函館市医師会/函館動脈硬化懇談会） テーマ Point of Care超音波検査を活用した腹痛患者診療の質的向上に関する研究 救急領域から派生したPoint of Care超音波(POCUS)は、系統的超音波で得られる所見の中から緊急性が高く手技が容易なものを選んで非超音波専門医がその有無を定性的に判定し、初診から治療に至る臨床推論の質向上を意図する。腹痛診療におけるPOCUSの有用性をprimary care外来の場で検証したので報告する。</p>
<p>■執筆者 山内 善裕、柿木 康孝、斉藤 裕輔（旭川市医師会/市立旭川病院） テーマ コロナ禍における市立旭川病院全職員に対する意識調査研究—平時との比較検討を含めて— 多くのCOVID-19感染患者の診療にあたってきた当院のスタッフは、一般診療と比較して多大な身体的労力および精神的緊張が必要とされる環境下で勤務してきた。このため、病院の健全な運営や組織を維持するための基礎情報を得ることを目的に、職員の心身状態等を把握する調査を実施した。</p>
<p>■執筆者 松浦 智和、今野 聖士、中島 泰葉、結城 佳子、荻野 大助、坂田 仁 （上川北部医師会/名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター） テーマ 過疎・寒冷積雪地帯における買い物環境改善と健康づくりを目的とする住民の主体的な活動に関する基礎的調査 士別市T地区の買い物環境を活用した健康づくりのプログラムづくりに関わり、自家用車を持たない住民の買い物の現状や生活の持続可能性に関する意識調査を実施したところ、多くの住民は買い物・健康・生活に不安を抱え、いずれ居住地を離れることを検討していることが明らかとなった。</p>
<p>■執筆者 吾田富士子、古田 博文、吉木 美恵（北海道保育保健協議会） テーマ 北海道の保育施設におけるオミクロン株への対応—コロナ禍の保育実施に関する調査第2報— 今まで子どもにはあまりうつらないとされていた新型コロナウイルス感染症が2022年1月（第6波）からのオミクロン株の流行により、相次いで子どもや保育職員が感染し、クラスターの発生等で休園する施設が増えた。このような背景から、園内で陽性者の対応を経験した保育施設も多くあると推察されるため、オミクロン株が保育に与えた影響を明らかにすることを目的に、オミクロン株の影響が無かった2021年12月までとオミクロン株の影響を受けた2022年1月以降の保育の変化について調査を行った。</p>
<p>■執筆者 米川 元晴、渡辺 徹（北海道小児科医会） テーマ 小児科におけるHPVワクチン接種の現状と小児科医の意識調査 2022年4月からHPVワクチンの積極的接種勧奨再開が決定となった。勧奨再開前のHPVワクチンの接種状況、及び小児科医の意識調査を行い、今後の9価HPVワクチンの定期接種化等の課題が示唆された。</p>